



学校だより

平成31年 4月 26日
練馬区立田柄第二小学校
校長 谷田 弘子

HP <http://www.tagara2-e.nerima-tky.ed.jp> e-mail info@tagara2-e.nerima-tky.ed.jp

教育目標:元気な子ども・考える子ども・思いやる子ども

No.496

思いやりを考えよう

校長 谷田 弘子

5月が近づき、田柄通りに鮮やかな色のつつじの花が咲き始めました。はなみずきの花も満開で、田柄通りは、1年で最も美しい季節を迎えます。明日から10連休に入りますので、児童はそれぞれのご家庭での生活になります。4月の始めから身に付けた生活習慣が崩れないように注意して、楽しい連休をお過ごしください。連休が明けると、令和元年、新しい元号の始まりです。

さて、最近「思いやり」という言葉を聞く機会が多くなりました。東京オリンピック・パラリンピックのテーマでもあります。海外からいらっしゃる多くの外国の方々に日本人の思いやりを伝えていきます。では、思いやりとはどんなことでしょうか？

「相手の気持ちや立場に立って考えること」と考えられれば十分だと思いますが、菊池昭夫さんという人の書いた「思いやりについて考える」という本があります。菊池さんは、人と人との関わりについて研究して博士になった人です。本の中に思いやりのある行動をするための四つの条件が書かれています。

第一は、相手のためになることをすることです。さみしそうにしている人に話しかけ元気づける、困っていたり、いじわるをされたりしている友達を助けるなど、相手のためになることをする必要があります。でも、相手のためになっても、相手が悪いことをしようとしている時に、悪いことを手助けすることは、本当は、その人のためにならないので思いやりとは言えません。

第二に、思いやりのあることをすると、時間がかかる、労力がかかるなど、少し損をする感じがするということです。急いでいる人のために順番を譲ったら自分の番が遅くなり

ます。恵まれない人のために募金をしたら、自分のお小遣いが減ってしまいます。重い荷物を運ぶお手伝いをしたら、くたびれます。思いやりのある行動をしたら、結果的に損をすることがあるのです。

第三の条件は、お礼を期待しないということです。相手に思いやりのあることをしたからといっても、お金や品物などのお礼を求めないということです。皆さんも、思いやりのある行動をして、相手から「ありがとう」と言ってもらえば、もうそれだけで十分、「やってよかった」と思うでしょう。

第四は、自分からするということです。他の人に言われて、お年寄りに席を譲るのでは違うのです。相手のためになることを、自分から進んでできることが大切なのです。相手のためになることを、自分からできたらとても格好良いです。

「思いやり」の四つの条件の中で、特に大事なのは、相手の気持ちや立場を考えて相手のためになることをすること、それから自分から進んでするという二つのことです。どんなに小さなことでも良いので、相手のためになることをすることが大事です。学校中のみんなが、お互いに、相手のためになることを自分から進んでできるようになったら、学校はもっと楽しく温かい生活の場となると思います。

子供が「思いやり」のある行動をできるようになるためには、何と言っても大人の行動が大事です。見返りを求めずに他の人のためになる行動をしている方々が、田柄や春日の地域には多くいらっしゃいます。そのような大人の中で、思いやりのある児童が育っていくようにと学校でも指導を進めていきます。ご家庭でもご支援とご協力をお願いします。